

「福祉サービス第三者評価」等を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	八王子美山学園	受審(実施)年度 (※)	令和6年度	施設番号	41 - 0015
-----	---------	-----------------	-------	------	-----------

※第三者評価または利用者調査実施の年度

項目	評価結果に基づく現状分析 (令和6年度)	改善計画 (令和6年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和7年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定があつた場合の実施状況 (令和8年4月30日時点)
利用者の高齢化への支援における課題の取り組みについて	利用者の高齢化に伴い、機械浴槽の導入や静養室など支援設備を整備している。高齢者の日中活動では「軽運動班」を設けて心身の機能維持を図っています。今後は高齢者だけでなく高齢になる前の予防のための機能維持も期待される。	利用者の高齢化に伴い日中活動では引き続き「軽作業班」で心身の機能維持活動として体操、レクリエーション、機器を使用したマッサージを実施していきます。コロナ禍で外出機会が減っていたため全体的に体力が落ちてしまいました。今後は年齢を重ねても自分の足で歩けるように散歩等、歩く活動を余暇・日中活動に多く取り入れていきます。	1 実施済み 2 実施予定 (令和8年3月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 日中活動に積極的に機能維持に関わる活動を入れていく。	1 実施済み (令和8年3月) 具体的には以下のとおりです。 軽運動において体操やレクリエーション、機器を使用したマッサージを継続実施しました。利用者一人ひとりの体力や健康状態に配慮し実施しました。散歩などの活動は個々のペースに合わせ実施しました。活動への前向きな姿勢や体力維持につながる様子がみられました。
次期リーダーとして副主任が役割・責任を担いながら、組織の中でしっかり機能していくような取り組みについて	副主任は行事リーダーや責任ある役割を担っています。しかし複数の副主任が組織内でさらに効果的に機能するための課題もあり、役割分担や責任の明確化が求められている。職員アンケートでの機能面の改善を求める声がある。職員の意欲向上や次期リーダーの育成を進め、組織全体の発展を目指している。	複数名いる主任、副主任が組織として機能できるように委員会、行事のリーダー、各部署での責任ある役割を担っています。組織として機能できるように係長、課長、施設長が状況を把握し面談、人事考課を通じて更なる施設全体のレベルアップを目指します。	1 実施済み 2 実施予定 (令和10年3月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。 主任等が委員会や行事リーダーの役割を担う体制を整え、一定の役割分担は図られましたが、役割遂行や主体性の発揮には個人差がありました。組織としての機能強化には引き続き取り組みが必要です。
地域行事参加や配食活動などを発展させ、今後の課題としている地域と協同する新たな取り組みについて	事業所ではお祭りや運動会、地域行事への参加を通じて、利用者の社会参加を支援している。地域貢献としてはホールでの健康体操実施や単身高齢者への配食サービスにも対応している。今後は更に地域とのつながりを深め、利用者が地域とより良い関係を築けるように目指している。	コロナ禍を経て徐々に地域行事も増えてきました。地域行事にふくら亭のパン販売、また利用者の参加を積極的に実施していきます。美山学園としてもホールの貸し出し、配食活動、地域を巻き込んだ行事を実施し、引き続き地域との繋がりを深めていきます。	1 実施済み 2 実施予定 (令和8年3月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	1 実施済み (令和8年3月) 具体的には以下のとおりです。 地域行事再開に伴い、パン販売や利用者の行事参加を実施しました。地域住民との交流機会が増え、社会参加への意欲向上が見られました。ホール貸し出し等、地域と連携した行事を行うことで地域とのつながりを再構築できました。

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とくきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。